



じんせい テキがない人生

2024/10/5

No.33

岩渕和信

あきもと しょうなんがくえん こうちょうしつ き
秋元さん(湘南学園幼~小~中高2018年卒業)が校長室に来てくれました!

「湘南学園のおかげで、今の僕にはテキがないんですよ」

「テキがない!?!」

こべつしどう じゅく しつちよう まか
「今、個別指導の塾の室長を任せられてるんですけど、いろんな
こせい しどうしゅ せいと じょうし で あ なかま つよ
個性の指導者がいます。生徒にも、上司にも、これまで出会ってきた仲間にも、個性が強か
ったり言動に癖があったり、いろんな人がいました。でも、どんな人も『テキと思えない』
んです。これって、湘南学園で身につけてきた感覚なんですよ」



「湘南学園で?」

「はい。たとえば、4月の交歓会では下級生と一緒に話しあって海で大きな砂の造形を作りますよね。そこから始めて、中高でも同じようにして下級生を巻き込んで学園祭なんか全部生徒がやるんですよ。そうすると、いろんな下級生とかいて、ずっと関わっていくと、どんな人に対しても『イヤだと思えない』ようになるんです」

「でも、子どもはいじめとかするでしょう」

「いろんな事ありますが、つき合っていくうちに、みんなでやるコツをつかむっていうか、中高ではほぼなかったですね。自立たない子も巻き込んでいたり。そう、湘南学園には『まかせられてる』っていう“自由”があるんです」

「自由?」

「まかせられた責任のある“自由”ですね。学力より、生き方のほうが大事です」

「責任のある“自由”」

かんかく でんせん
感覚は伝染する。人にはミラーニューロンがあるから。この「テキがない」という感覚が伝染すれば、世界は平和になる。

ここで私たちは未来を創っている。

幼稚園がサイコーなんですよ。すべての遊びをまかせられている。

あの自由の成功体験があるから今、未来への不安がないんです。(秋元さん)